

2008年4月3日

日本政策投資銀行「環境配慮型経営促進事業」の環境格付けにおいて、特別表彰を取得

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（社長：田村浩章）は、日本政策投資銀行の「環境配慮型経営促進事業」における格付け審査において、最高ランクの評価と併せて、総合化学メーカーで初の特別表彰を取得、3月31日に同制度に基づく融資を受けた。

「環境配慮型経営促進事業」は、日本政策投資銀行が開発したスクリーニングシステム(格付けシステム)により企業の環境経営度を評点化して優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の適用金利を設定する、「環境格付け」の専門手法を導入した世界で初めての融資制度。

宇部興産は、1949年から「宇部方式」をはじめとした環境対策にいち早く取り組み、地域や環境との「共存同栄」を図るなど、地域住民をステークホルダーとして強く意識した環境経営を実践しており、2004年11月には日本政策投資銀行の環境格付けで「環境への配慮に対する取組みが特に先進的」という最高ランクの格付けを取得しているが、今回再び最高ランクの格付けを取得すると共に、2006年度から新たに創設された特別表彰（最高ランク取得企業のうち、評価点が200点を超える企業が対象）を受けた。

この特別表彰にあたっては、①独自技術で生産された調色リサイクル樹脂や廃プラのガス化リサイクル事業（EUP）などマテリアルリサイクル及びケミカルリサイクルに貢献する環境配慮型製品の技術力、②同業他社に比べて意欲的なCO₂排出量削減目標 が高く評価された。

宇部興産では今後も環境に配慮した技術・製品の開発を推進し、併せて更なる環境負荷低減に努めていく。

以上